

井上通泰 ツナヒ 歌人、國文學者。慶應二年十一月二十一日播磨國生  
れ、昭和十六年八月十五日歿（六六—一九四一）。幼名泰藏。筆名作者は  
男、南大莊、南大莊主人、新入生、星陵生、柳井生、玉麟子、病學究、  
石籬舎主人、麟等。國學者松岡操の二男、醫家井上碩平の養子。帝國  
大學醫科大學卒。兵庫縣立姫路病院副院長兼眼科部長、二高醫學專門  
學校教授を経て、明治二十五年東京の眼科醫開業。傍ら作歌、米久森  
鷗外等と帝聲會を興じ、四十年御歌所寄人となる。大正九年宮中顧問  
官、昭和十一年貴族院議員。民俗學者柳田國男、民族學者松岡靜雄、  
日本畫家松岡映丘の實兄。

編著書 『桂園叢書・第一集』（編、明治二十五年六月、二十有斐閣書  
房）、秋山弘道 著 『蕪賢錄—熊澤伯繼傳』（校、明治二十四年十一  
月、二十五日岡山・岡山縣廳）、『蕃山考』（明治二十五年七月、二十日岡

山・岡山縣廳）、『和漢朗詠集和歌評釋』（歌學研究會會員筆記、明治  
二十七年六月、二十五日弘文館）、『南大莊詠草』（明治四十年九月十

五日武井忍助編輯）、『南大莊詠草』一篇（大正二年四月、二十五日自  
校訂全集集）校訂詞花集 全一冊（明治四十一年十一月十四日歌書刊行會）、『北

小路俊光日記抄（蕃山遺稿・卷一）（明治四十四年九月、二十九日聚  
精堂）、『南大莊應嘯寫真帖』（大正十年十一月十日日本巧藝社）、

『南大莊歌稿』（大正十一年八月十五日南大莊講堂）、『南大莊歌話』  
（大正十五年六月十日日本古典全集刊行會）、『南大莊歌集』（彌富

敬學雄・外山直正・正京教夫 編、昭和二年四月、二十八日、『南大莊歌  
集』一篇（十一年五月十一日古今書院）、『吳竹會選歌集』（内一東

伏見宮吳竹會選歌）選、昭和二年五月十一日東京伏見宮藏版）、『南大

莊雜筆』(昭和五年)二月十八日香陽堂)、青山霞村編『桂園秘稿』

(校訂、昭和五年二月十日京都・別荘(社)、『梧桐會選歌集』(南

天莊各、選、昭和九年十月遠藤一

郎編、無刊記)、『今樣歌』(外

山正郎補註、昭和十一年二月五日、

第一集・四月五日、第二集・五月

十日、續編第一集・十二年四月一

十日、續編第二集・七月五日、續

編第二集・十二月五日石野觀山刊)、『今樣歌』(昭和十二年二月一

十八日福壽堂)、『吳行會選歌集』(選、昭和十二年四月東京自由會館藏

版)、『石榴會選歌集』(南天莊各、選、昭和十二年八月二十五日遠

藤一郎刊)、『南天莊同人會詠草選餘集』(山根健一郎編、昭和十七

年一月十八日清三郎稿)、無刊記)、『上代歴史地理新考』東山道(附

風土記逸文註釋)』(昭和十八年六月二十日三登堂)、歌集『南天莊

集』(柳田國男編、昭和十八年八月八日二國書房)、井上二綱畫『萬

葉書集』(選、昭和十九年二月二十五日選形藝術社)等。

文獻、中野常春著『南天莊歌話と讀文』(昭和二十年十月聽松山房誌、

無刊記)等。

